

山梨県立 Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

考古博物館 だより

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

🐦 @yamanashi_kouko 📘 @yamanashi.kouko1103

No.92

甲府城のすべて

— 石垣と瓦の考古学 —

The 38th 特別展

EVERYTHING ABOUT KOFU-JO CASTLE

【画像：右から】菊文軒丸瓦 / 鬼瓦（一部） 大坂城跡（公財）大阪府文化財センター保管

甲 府城（甲斐府中城）は惣石垣（※1）で築かれた山梨県内唯一の近世城郭です。平成2～15(1990～2003)年にかけて行われた発掘調査により、この城が東日本では貴重な織豊系城郭（しょくほうけいじょうかく）（※2）であり、築城された豊臣期の土木技術を伝える遺跡であることが明らかになりました。

甲府城跡において評価すべきは、築城期に構築された野面（のづら）積み石垣が、今なお数多く残っていること、そして金箔鯨瓦（きんぱくしゃちがわら）をはじめ、装飾性の高い鬼瓦、板瓦など、瓦を中心とした往時の特徴を示す豊富な資料が発掘されたことです。出土品は圧倒的に瓦が多く、その中でも築城期のものは本丸を中心とした人質曲輪（くるわ）、天守曲輪で多く出土する傾向にありました。これら鯨瓦や飾瓦が本丸周辺で多く出土するのは、城郭の象徴的な場所である本丸等を中心に、豊臣氏支配を誇示する目的で優先的に建物を配置した結果にほかなりません。

本展は、平成30年度に甲府城跡が国史跡に指定されて以来初となる、「甲府城」にスポットを当てた特別展となります。各地の発掘調査の結果と比較しながら、戦国時代から江戸時代にかけての激動期に築かれた甲府城の歴史的意義について、瓦や石垣を中心とした考古資料からあらためて考えていきたいと思えます。

※1 惣石垣…全体的に石垣に囲われている状態 ※2 織豊系城郭…安土・桃山時代に築かれた瓦葺きで惣石垣の城郭のこと

特別展

甲府城のすべて

2021

9/30



11/23

I 甲府城の景観

そもそも甲府城ってどんな城？
国史跡・甲府城跡の見どころ紹介！

II 甲府城跡の発掘調査

多種多様な瓦に金箔が確認された平成の発掘調査の成果を振り返ります。

III 金箔瓦の成立と展開

織豊城郭を象徴する出土品である金箔付鯨瓦・飾瓦の変遷を辿ります。

IV 甲府城の天守をめぐる謎

近年の研究動向から、甲府城最大の謎「天守」の存在に迫ります！

V 甲府城の未来

山梨の貴重な観光資源としての甲府城の未来について考えます。

【画像】山梨県指定文化財 金箔付鯨瓦・輪宝 甲府城（当館所蔵）
甲府城跡稲荷櫓の高石垣（背景）

特別展記念講演会

会場 風土記の丘研修センター講堂
午後1時30分～3時

要予約

※来場できない方のため配信を予定しております。
詳細は後日ホームページにてご案内いたします。

10/10

第1回「天下統一と金箔瓦 ～甲府城出土金箔瓦をめぐって～」
中村 博司 氏〈元大阪城天守閣館長〉

10/31

第2回「甲府城の石垣と景観」
久保田 健太郎 氏〈山梨県埋蔵文化財センター〉

11/14

第3回「甲府城の考古学」
萩原 三雄 氏〈帝京大学文化財研究所長・
山梨県立考古博物館名誉館長〉

【画像上から】山梨県指定文化財 人形付鬼瓦・大型円形飾瓦〈違い鷹の羽文〉・獅子留蓋瓦 甲府城（当館所蔵）

—石垣と瓦の考古学—

会期

令和3年9月30日（木）～11月23日（火・祝）

開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日

毎週月曜日（11月22日は開館）、11月4日（木）

観覧料

一般・大学生 600円（20名以上の団体480円）
◇小・中・高校生・県内在住の65歳以上の方（要証明書）無料
◇障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名 無料

<後援> 朝日新聞甲府総局 / エフエム甲府 / エフエム富士 / 産経新聞甲府支局 / テレビ朝日甲府支局 / テレビ山梨
日本ネットワークサービス / 毎日新聞甲府支局 / 山梨新報社 / 山梨日日新聞社 / 山梨放送 / 読売新聞甲府支局
曾根丘陵公園指定管理者 富士観光開発・富士グリーンテックグループ

<協力> 山梨県立考古博物館協力会



第38回特別展
WEBページ

⚠ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内容の変更または中止となる場合があります。最新情報はホームページにてご確認ください。

金箔軒丸瓦〈巴文〉大坂城跡（大阪府文化財センター所蔵）